

未来の大阪 創造マガジン

Sencia

センシア Vol.4



対談 未来をCHANGE

元サッカー日本代表監督
F1C今治オーナー

岡田 武史

多摩大学大学院・教授
シンクタンク・ツフィアバンク代表

田坂 広志

一般社団法人 大阪青年会議所
第65代理事長

別所 大作

感性価値を創造する大阪の企業
サントリーホールディングス株式会社

大阪で活躍する
青年経済人に密着!!

に道

元ハピネス☆セゾカ



感性価値を 創造する大阪の企業

洋酒、ビール、清涼飲料から健康食品まで多彩な品揃えで大阪から世界に誇る企業であるサントリー。「やってみなはれ」の精神をもって日本の洋酒文化を切り拓いた創業者のチャレンジ精神を受け継ぎ、総合酒類食品企業として新たな価値の創造に挑戦し続けています。
今回は、大阪青年会議所第43代理事長を務められた代表取締役副会長の鳥井信吾先輩にお話を伺いました。

Profile

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役副会長

鳥井 信吾

甲南大学理学部 卒業
南カリフォルニア大学大学院 修了
伊藤忠商事株式会社を経て
1983年 サントリー株式会社 入社
1992年 サントリー株式会社 取締役、生産企画部長
2014年 ビーム サントリー社 取締役(現任)
2014年 サントリーホールディングス株式会社
代表取締役副会長(現任)

1993年 社団法人大阪青年会議所 理事長
2012年 一般社団法人関西経済同友会 代表幹事
2014年 大阪商工会議所 副会頭(現任)

現代は閉塞社会と言われ、世の中はますます複雑化、専門化してきており、他の分野の事はもとより自分が何をしているのか、何をすべきなのかわからなくなっている。そのためROEのような数値だけを見て経営を行う会社や業界が増えてしまい、その結果、経営判断を誤るケースが多く見られる。
今こそ数値だけに頼らずトータルでものを考える若者を生み出していかねばならぬ、と鳥井副会長。
そして未来の大阪のためには、はっきりとものを言うことが大切であり、私達若者の言葉を大阪に響かせて欲しいとのメッセージをいただきました。

1899年(明治32年)に、鳥井信治郎氏が鳥井商店を大阪で創業しました。創業当時はスペインからワイン樽を輸入・瓶詰めして販売を行うほか、清涼飲料であるサイダー類の製造販売を行う会社としてスタートしたそうです。
1907年に「赤玉ポートワイン」というワインを製造、販売したところ、大人気となり、1921年(大正10年)に株式会社寿屋を創立、ウイスキーとビールの製造販売も始めました。第二次世界大戦後、ウイスキーがヒット、ウイスキー部門の火付け役となりました。
ビール部門は大戦前に一度撤退をしましたが、1963年(昭和38年)社名を「サントリー株式会社」に変更した際に再挑戦し、苦節50年の時を経て「ザ・プレミアムモルツ」と「金盞花」で軌道に乗せることができました。今年3月にはマスターズドリームというビールを販売、人気商品となっているのはご存知の方も多いのではないのでしょうか。このビールは均一の品質のものを作ろうとする近代ビール醸造学に依らず、原料も造り方も特徴も違うことで、「飲むほどに喉が渇いて飲みたくなる」というビールの理想の概念を実現しています。

サントリーの価値を 創造し続ける風土

創業以来引き継がれてきた理念である、行動することから始める「やってみなはれ」の精神が、積極果敢に切り拓いていくバイタリティ溢れる攻めの文化を育み、また、鳥井信治郎氏は人間の持つ根源的性質である愛社精神やロイヤリティを大切に、掲げるビジョンを体現してこられました。それがサントリーという会社の根本となっています。さらに、事業は大地報恩であり、両親から与えられた命に対して感謝し、それにお返しする気持ちを持って事業を行うことが大切であると鳥井信治郎氏はいつもおっしゃっていたそうです。

JCの魅力について

JCの魅力は、JCの仲間や、その仲間を通じて人と知り合い、人脈を拡げていけること。他の集まりではなかなか得られない、利害関係を超越した強力な繋がりが得ることが出来るのがJC。この繋がりに多くの助けが得られ、それがなければ間違いなく今の自分は存在しない。5年先、10年先、20年先に生きてくるものだとおっしゃっていました。

大阪に住み暮らす人々や JCメンバーにメッセージ

大阪に住み暮らす人々やJCメンバーにメッセージをいただきました。

サントリーホールディングス株式会社

1899(明治32)年創業。大阪市北区に本社を置き、ウイスキーやワイン、ビール、清涼飲料、健康食品などの製造・販売を行う。「水と生きるSUNTORY」というコーポレートメッセージのもと、お客様に最高品質の商品・サービスを届けるため、水のように柔軟に常に新しいテーマに挑戦し続けている。



01 目次

02 OB Interview 感性価値を創造する大阪の企業 サントリーホールディングス株式会社

03 対談 未来をCHANGE 元サッカー日本代表監督 FC今治オーナー 岡田 武史 × 多摩大学大学院 教授 シンクタンク・ソフィアバンク代表 田坂 広志 × 一般社団法人 大阪青年会議所 第65代理事長 別所 大作

07 2015年度 大阪青年会議所卒業生

11 大阪で活躍する青年経済人に密着 有限会社扶桑印刷社 関谷 昌子 才門建設株式会社 才門 功作

13 大阪ええところ紹介 なにわ淀川花火大会運営委員会

14 大ちゃんのおすすめグルメ情報 馬肉料理 ホース



Sencia vol.4 (2015年12月発行)

一般社団法人 大阪青年会議所

設立:1950(昭和25)年3月25日
社団法人格取得:1955(昭和30)年1月17日
会員数:1,111名(2015年4月現在)

〒552-0007
大阪市港区弁天1-2-30
オーク4番街401号室
TEL:06-6575-5161
FAX:06-6575-5163
http://www.osaka-jc.or.jp

未来をCHANGE

11月16日、大阪青年会議所11月度月例会において、元サッカー日本代表監督で現FC今治オーナーの岡田武史氏、シンクタンク・ソフィアバンク代表の田坂広志氏、大阪青年会議所別所大理事長の3名によるトークセッションを行いました。



一般社団法人 大阪青年会議所
第65代理事長
株式会社翠光舎 代表取締役

元サッカー日本代表監督
FC今治オーナー

多摩大学大学院教授
シンクタンク・ソフィアバンク代表

別所大作 × 岡田武史 × 田坂広志

人と人を繋ぐ ご縁について

別所 田坂先生は人とのご縁というものを大切にしておられますが、田坂先生と岡田監督とはどういったご縁があったのでしょうか。

田坂 まず、大阪青年会議所の皆様とは、1月の講演や大阪変革塾でご縁をいただきましたことに感謝申し上げます。

私と岡田監督とは、若い頃に読み人生に大きな影響を受けた本が同



じなのです。それはローマクラブという世界的なシンクタンクが出した「成長の限界」という本で、「人口増加や食糧危機、資源の枯渇、エネルギー不足、環境汚染が続けば、100年以内に人類の成長は限界に達するだろう」と警鐘を鳴らしているのですが、このメッセージが大学で原子力工学を学び、環境問題に携わった私の原点です。同様に岡田監督にとっても大きな原点になったというこの共通点が出会いの不思議でした。

別所 私は田坂先生の著書、特に「目に見えない資本主義」という著書の影響を受けていたこともあり、田坂先生とご縁をいただきました。

今年、大阪から未来のリーダーを育成する事業を行うことができました。

岡田 私も田坂先生の著書が好きで、いつかお会いしたいと思っていました。そうしたら偶然、私と田坂先生とを繋いでくれる方が現れてお会いすることができました。そしてお会いしていきなり、「私は岡田さんとはいつか出会うと思っていました」と言われ驚いた記憶があります。

そのような出会いから、今は私もソフィアバンクの一員として活動をさせていただき、田坂先生にはFC今治の社外取締役、アドバイザリーボードのメンバーもお受けいただいています。また偶然にも田坂先生は今治生まれなんです。こういう偶然が重なってご縁を頂いています。



大いなるものに 導かれていくという覚悟

別所 ところで田坂先生から青年会議所をご覧になり、足りないと思われる部分やどのような運動をすべきか等、ご教授いただけますでしょうか。

田坂 JCIは素晴らしい方々の集まりだと思います。お仕事もある中で、世の中を良くしようと集まってもらえる。まさに人を導く立場でいらっしゃる。だからこそ持っているいただきたい覚悟があります。それは、「自分は大いなるものに導かれているという覚悟」です。大いなるものに導かれ、人生を歩んでいるという思いを持っていることがリーダーにとって一番大切な構えだと思います。その





ような思いを持てば、不思議なことに会うべき人との縁が生まれ、人生に必要なことが与えられる。40歳を前にしてこの覚悟を持たれたら、とても爽りの多い人生、まさにリーダーとしての人生を歩まれるでしょう。

別所 力強いお言葉ありがとうございます。私も今年理事長を務めている中で、今のお言葉の重さを感じております。同時に謙虚さだけではなく、自分の主義主張を力強く持っていることが、未来に向けて決断する時に必要だと考えております。

企業は社会のために存在する

別所 岡田監督は今やサッカーの監督の域を超えて活躍されておられますが、FC今治がめざす未来とはどのような未来でしょうか。

岡田 10年後にJ1で優勝し、日本代表を4、5名輩出しようと頑張っています。民主主義もそうですが、リーダーがいらないことを嘆くのではなく、サッカーも一人一人が責任を担うのが本来の形だと考えているので、まずは自分が日本代表を育て、日本のサッカーを変えることを目標にしています。

田坂先生にも物理的には重い物ほど動かないが、人の心は夢が大きいほど動くと教えていただきました。サポーターからもこの大きな夢に共感し、賭けていただいています。将来的には今治地域から日本そして世界へと、皆さんの考え方を伝えられるようなチームにしたいと考えています。公益資本主義という言葉がありますが、これからの資本主義も変わらなはいけません。そのために自ら行動をもって共感者を募っていく。

く。そうして皆が集まった時に社会を変えられることができる。それぐらいのつもりで頑張っています。

別所 大阪青年会議所も、1950年の設立から「明るい豊かな社会を築く」という理念は今も変わりません。メンバーの全員が社会のリーダーや経営者として、社会貢献なしに会社の事業は成り立たないという意識が高まっています。そのような中で、これから田坂先生と岡田監督が共同代表発起人となり「Giving Project」というプロジェクトを立ち上げられます。私も賛同させていただいておりますが、田坂先生から少しお話しただきたいと思っております。

田坂 「Giving Project」の英語の「Gift of Invisible Value in the society for Next Generation」の頭文字で、日本語で「未来の世代に、目に見えない価値を大切に社会を贈り物として届けよう」という運動です。より良い社会を未来に残すために、このプロジェクトを大きな運動にしたいと思っております。例えば具体的には「SOA Volunteer Service One day Project」ですが、これは岡田監督が良く仰っている、本来企業は本業を通じて社会に貢献しなければならぬ、という考え方に基いた運動です。仕事はお金儲けが目的で、社会貢献はその利益の一部を寄付するものという考え方はなく、日々の仕事そのものが企業にとって社会貢献なのだということを思い起こすために、月に1日でも社会貢献のボランティアサービスをしようにという運動です。

岡田 そもそも企業は社会のために存在しているのです。自分の働く会社が社会にどう貢献しているかを皆が忘れていなければ、それを改めて見つめ直すきっかけを作ろうと思いい、このプロジェクトを企画しました。

別所 この運動が広まれば世の中はもっと良くなると思いますし、私達が動いて社会に貢献することが企業の利益だということ意識が高まるプロジェクトだと思います。大阪青年会議所のめざすところと共通していますし、ぜひ来年以降取り組みたいと思います。



別所大作

- 経歴**
- 1999年 龍谷大学 経営学部卒
 - 2003年 株式会社翠光舎設立 代表取締役就任
 - 2008年 社団法人 大阪青年会議所 入会
 - 2013年 公益社団法人 日本青年会議所 グローバルリーダー育成委員会 委員長
 - 2015年 一般社団法人 大阪青年会議所 第65代 理事長

岡田武史

- 経歴**
- 1956年 大阪市出身
 - 1980年 早稲田大学 政治経済学部卒
 - 1980年 古河電気工業入社。サッカー日本代表デビュー
 - 1990年 現役引退後、古河電気工業(ジェフユナイテッド市原)コーチ
 - 1997年 日本代表監督。チームを初のW杯出場に導く
 - 1999年 コンサドーレ札幌監督。
 - 2001年にJ1リーグ昇格を果たす
 - 2003年 横浜・Fマリノス監督。J1リーグ第18第2ステージ優勝
 - 2007年 2度目の日本代表監督。
 - 2010年 W杯南アフリカ大会にてベスト16達成
 - 2014年 四国サッカーリーグ・FC今治の運営会社「株式会社今治・夢スポーツ」代表取締役

田坂広志

- 経歴**
- 1951年 愛媛県出身
 - 1974年 東京大学工学部卒業
 - 1981年 東京大学院修士(原子力工学)
 - 1987年 米国シンクタンク・パテル記念研究所客員研究員
 - 1990年 日本総合研究所の設立に参画
 - 2000年 多摩大学大学院教授に就任
 - 2000年 シンクタンク・ソフィアバンク設立 代表に就任
 - 2008年 ダボス会議を主催する世界経済フォーラム Global Agenda Councilメンバーに就任
 - 2010年 世界賢人会議Club of Budapest 日本代表に就任
 - 2011年 東日本大震災に伴い内閣官房参与を務める
 - 2013年 全国から2500名の経営者やリーダーが集まる場、「田坂塾」を開塾

一般社団法人 大阪青年会議所 2015年度 卒業生

本年40歳を迎える115名のメンバーが大阪青年会議所を卒業いたします。
これまでの青年会議所活動への功績に敬意を表するとともに、積み重ねた経験を活かして、
今後ますます社業の発展と社会貢献活動に邁進されますことをご祈念申し上げます。



島村 真以



斉藤 町子



岸本 淑邦



小田 啓太



大森 貴之



白崎 識隆



坂井 征司



合田 佳史



木下 一郎



梶木 太嗣



小上 茂樹



大垣 有作



伊藤 美恵



新井 敏之



足立 崇



神野 貴勝



佐々木 琢郎



古賀 章広



木村 友昭



烏山 崇



岡村 諭



大竹 基之



井上 昌浩



池本 誠知



有光 克敏



我妻 昌章



洲鎌 智



佐藤 裕介



小坂 浩太



清岡 義教



川崎 裕樹



小川 徹朗



大東 俊也



氏田 裕吉



今田 晴久



石田 貴志



安藤 大介



安部 穰之



杉山 一穂



澤田 宏子



後藤 晋司



神島 聡介



姜 永守



尾崎 宏明



鈴木 一宏



小松原 徳人



神崎 裕子



小田 和幸



祝 卒業



水野 成浩



藤田 恭子



板東 学



富田 かおり



瀬川 隆行



山佳 誠秀



山崎 泰嗣



森田 哲通



溝畑 泰生



前田 智之



古田 久統



姫嶋 大輔



西野 嘉一



中辻 史記



友井 亮輔



谷川 安徳



瀬川 文武



山廣 昌司



森本 大吾



茗荷 崇之



松尾 大



別所 大作



平松 澄子



畑中 学



中西 彰吾



長尾 高人



樽谷 隆弘



高橋 大輔



吉川 伸明



山本 恵理



安平 晃宏



村治 規行



松川 浩士



細川 祐介



深田 博司



羽根 亨



中村 文隆



中川 知子



津和 邦嘉



竹内 万征



吉田 義章



山本 健一郎



山崎 豊和



室谷 光一郎



松下 昌史



堀田 剛基



福田 大輔



土生 康晴



成田 圭子



中島 洋行



寺岡 龍朗



竹村 紀宏



吉山 晋市



山本 岳二



山崎 豊和



松田 大治



本元 宏和



福本 義人



濱崎 恭明



西谷 俊也



中谷 洋輔



恵山 幸由



田中 忠和



和田 良太



盛田 悟史

pick up!



profile

- 1981年 大阪府岸和田生まれ
- 2000年 プリティッシュコロンビア大学(カナダ)入学
- 2003年 首都師範大学(北京)編入、経済貿易学科卒業
大学在学中に才門建設株式会社設立、CEO就任
- 2007年 清華大学ベンチャー企業と合併で株式会社グランドソフト設立
- 2008年 株式会社インターリンク入社(新gTLD事業立ち上げ)
- 2009年 一般社団法人日本ドメイン名事業者協会設立、事務局長就任
- 2010年 株式会社アーバンブレイン 代表取締役就任
- 2012年 ソウル、香港留学(延世大学 Global MBA 卒)
一般財団法人旧軽井沢倶楽部
グローバルプロジェクト執行役員就任
- 2014年 和信産業株式会社代表取締役就任
- 2015年 才門建設株式会社設立、代表取締役就任
亜新投資株式会社設立、取締役就任
武漢亞洲心臓病院グループ、日本代表就任

JC活動歴

2015年 大阪青年会議所入会

才門建設株式会社



JC活動



JC入会のきっかけ

私の父親も祖父も岸和田JCで理事長経験のある青年会議所OBであり、また小学校時代に父の日本JCでの活動を通じ色々な事業に参加させてもらった事もあり、昔からJCという組織は身近にありました。そして今年、地元である大阪に本社を構えることになったのをきっかけに、大阪JCに入会しました。JCには青年経済人として第一線で活躍されている、模範とすべき同年代の方々がたくさんいらっしゃるので、これから卒業するまでの6年間で様々な事業や出向を経験させていただき、勉強させていただきたいと考えています。

才門建設株式会社
代表取締役社長

才門 功作

仕事について

弊社では、不動産業、不動産管理業、医療コンサルティング業を主に取り扱っております。いずれの業務についても国内外のネットワークを活かした経営をしており、不動産業、不動産管理業では外資系企業が日本に進出する際の不動産投資や管理に関するお手伝いをさせていただいております。また、日本企業の海外進出の際の協業先の選定や顧客の紹介など、海外事業展開のお手伝いもさせていただいております。現在特に注力しているのは医療コンサルティング事業で、これは中国および香港の医療グループと提携して、日本の医師を中国へお連れして医療技術の指導を行っていただいたり、現地に看護師のコンサルタントを長期派遣し、病院の看護管理および教育の改革を行っています。海外の医療グループに対し、日本の優れた医療・看護ノウハウを指導教育する事で、現地で提供されている医療サービスの品質向上に貢献し、愛のあるアジア友好を実現したいと考えています。

これからの目標

仕事面では、現在弊社と提携している医療グループをアジアで一番の組織にすることが今目の前にある目標です。そしてグローバルな視点で海外企業とどんどん提携しながら日本でビジネスを展開していきたいですね。そして何よりも、会社経営は継続することが一番大切だと考えているので、焦ることなく地道に日々努力を重ねていきたいと思っています。JC活動面では、カナダに8年間、中国に3年間、韓国に2年間留学した経験を活かし、海外との折衝など、国際的な活動してみたいですね。海外出張も多いですが時間が許す限りJC活動を頑張り、仕事とJCを両立できる人間になりたいと思っています。

pick up!



JC入会のきっかけ

高校生時代からの親友が大阪青年会議所に入会する時に、私も一緒にどうかとお誘いを受けたのが入会のきっかけです。その友人の父から、素晴らしい人たちと出会いがある団体だからと熱心に勧誘いただき、そこまでおっしゃるのだからきっと私にとって価値のある経験が得られると思い入会を決めました。実際JCで活動していると様々な出会いがあり、その出会いを通じて仕事の仕方を学ぶことができ、自分の世界が少し広がったように思います。

有限会社扶桑印刷社

関谷 昌子

仕事について

主に企業向けの名刺やはがき、冊子などの印刷や、書籍の企画出版をしております。また、学生時代に幼児教育学を学んでいた経験から、絵本作家さんとコラボレーションした、プレゼントするお子さんへの写真つきメッセージも入れた世界に一冊だけのオリジナル絵本を作成する事業を昨年立ち上げました。その他、アーティストの方々とお話イベントを企画実施したり、ラジオのパーソナリティーとして中小企業の社長様にインタビューし、その人となりをお伝えする番組をさせていただいております。

参加した中でよかった事業

サマーコンファレンスと整肢学院事業が印象に残っています。サマーコンファレンスでは小委員会のメンバーと一緒に遠出することで一気に仲良くなれましたし、JCの規模の大きさを目の当たりにすることも出来ました。整肢学院事業では私はリーダーではありませんでしたが、涙を流しながら頑張っているリーダーの姿など、とても心に残る場面が多かったですね。

これからの目標

JCで得られた人間関係を大切に、みなさんのいい部分を自分にどんどん取り込んでいければと考えています。また来年は旧人として会員開発委員会に所属することになり、私がこの一年間で経験したことを来年会入されるメンバーさんに伝えられるように頑張りたいと思います。そして私はまだ卒業まで先は長いのですが、先に卒業される先輩方みたいに成長できるように最後まで頑張りたいと思います。

profile

- 1988年 大阪府生まれ
- 2013年 京都教育大学大学院 幼児教育学コース修了
- 2013年 有限会社扶桑印刷社入社
- 2014年 オリジナル絵本ギフトのBig Hug 立ち上げ

JC活動歴

2015年 大阪青年会議所入会

有限会社扶桑印刷社



JC活動



犬ちゃんの

馬肉



仕入れている馬肉の鮮度には自信があります。
是非ご賞味ください。



//Data//

熊本出身の父親が昭和57年に開業、池島宏さんで2代目。馬肉は熊本で有名だが、開業当初は大阪で馬肉がほとんど認知されていなかった。バブル期に徐々に広まっていった。

看板メニューはやはり馬刺し。臭いもほとんどなく、非常に柔らかく食べやすい。鮮度の高い馬肉を仕入れておられるので一般の馬刺しと比べると格段に美味しい。サイボシ(燻製)、ステーキ、鍋等も人気。コースも用意しているので色々楽しんでもらえる。また、おまかせメニューも可能で、予算に合ったその日ごとの仕入れによりメニューも見繕ってくれる。客層は老若男女問わず、幅広いリピーターがついている。接待にも使われる。



名 馬肉料理 ホース
住 大阪市中央区東心斎橋 2-3-12
営 17:00 ~ 23:00
休 日曜・祝日



お待ちしております!



馬刺し	2,000円
サイボシ(馬肉の燻製)	1,000円
はりはり鍋	3,500円
馬ステーキ	4,500円~

売れ筋商品

大阪

ええとご紹介

なにわ淀川花火大会運営委員会



名称:なにわ淀川花火大会運営委員会
所在地:大阪市淀川区十三本町1-4-2
URL:<http://www.yodohanabi.com>

なにわ淀川花火大会運営委員会
警備・交通委員長 中井光さん

なにわ淀川花火大会
運営委員会とは?

なにわ淀川花火大会は、大阪の夏の風物詩として毎年8月上旬に淀川河川敷で開催している花火大会で、多くの人々に親しまれています。
その前身は「十三どんとこい祭」。昭和63年の祭り開催時に花火の打ち上げを行ったところ好評を得たことから、その運営委員会が母体となって「平成淀川花火大会運営委員会(現・なにわ淀川花火大会運営委員会)」を立ち上げたところから始まりました。
そして企画・運営・実行の全てを自らが手がける花火大会として平成元年(1989年)に第

1回大会を開催しました。
2006年の第18回大会からは新たな後援をいただき、オール大阪で応援をいただく大会として、名称も「平成淀川花火大会」から「なにわ淀川花火大会」と改めました。
入出は年々増加傾向にあり、近年では約50万人が訪れる全国屈指の規模になりました。

団体理念について

他の多くの花火大会とは異なり、なにわ淀川花火大会を運営する運営委員会は地元十三の人々をはじめとするボランティアによって構成されており、運営にかかる費用も協賛観覧席の収入および、

周辺企業・団体・商店など地域住民の方々のご寄付のみでまかっています。
出来ることは行政に頼らず自分達で作り上げていくという、独立心の強い大阪人の気質を根底に持った大会運営を行っています。

大阪青年会議所
メンバーへのメッセージ

今年で第27回目の開催となり、毎年恒例の行事として認識されるようになりました。昨今は安全対策などへの要求が厳しくなっておりますが、これからも開催を継続し、全ての世代の人びとに親しんでいただける大会になつていくようにと願っています。
また手作りの花火大会として、大会運営にもっと多くの人びとに関わつ

ていただけるような仕組みづくりも行つていかなければなりません。そしてこの花火大会が大阪の文化の一つとして捉えられるようになるまで活動していくことが大切だと考えています。

大阪JCIのちよいゆるスタンプ 好評発売中!



かわいくて



おもしろくて



ちよいゆる☆



一般社団法人 大阪青年会議所のオリジナルスタンプ♪
1927年、大阪に初来園したチンパンジーをモチーフに、
大阪人のもつ感性で、あなたの日常に笑いを溢れさせます!!

LINEウェブストアから!

QRコードを読み取るとLINEウェブストアの
大阪JCスタンプページへ移動します!



LINEアプリから!

LINEアプリ内 [スタンプショップ] 内で
[大阪JC] と検索してください!



クリエイターズスタンプ内に
出てきます!



一般社団法人 大阪青年会議所

お問い合わせ先
TEL:06-6575-5161
FAX:06-6575-5163